

広報 かわかみ

発行

川上校区自治協議会

〒861-5521

熊本市北区鹿子木町53-1

TEL 096-245-3555



彼岸花ロードハイキング



第33回 ふれあいフェスタ in ほくぶ

『彼岸花ロード
ハイキング』

・青少年大会』

9月23日(火) 北部まちづくりセンターを出発し、彼岸花ロードを通り、野原グラウンドで休憩し、北部まちづくりセンターに戻ってくる経路で彼岸花ロードハイキングを行いました。

今年は、その名のとおり彼岸花ロードではたくさん彼岸花が咲いて参加者を楽しませてくれました。休憩の時間には、北区役所保健こども課の保健師さんによる健康調査があり、自分の健康に関心を持つことが出来ました。

10月25日(土) 北部体育館でふれあいフェスタin北部の中で青少年大会を行いました。

五丁保育園と北部中央保育園の演技でスタートし、西里、川上、北部東小学校、北部中学校、北高の対象者への善行表彰、各小学校、中学校、高校の皆さんのステージ発表があり、大変盛り上がりました。参加者の皆さん、ありがとうございました。



第1回川上校区 防災訓練を終えて

川上校区防災連絡会会長 荒尾 幸治

11月15日(土)

川上校区で初めてとなる防災訓練を実施しました。当日は、役員をはじめ地域住民の皆さま約140名にご参加いただき、避難所運営訓練を中心に行いました。

体育館では、避難通路を確保したうえでテントを設置し、テント以外のスペースでは毛布を使って収容可能世帯数を確認しました。また、駐車場についても車中泊避難を想定し、最大160台分の駐車スペースを確保できることが分かりました。

今回の訓練を通じて、「自分の身を守る」「地域で助け合う」ことの大切さを改めて実感しました。災害はいつ起こるかわかりません。日ごろからの備えと、顔の見える関係

第24回川上校区主催の敬老会が、今年も9月15日に開催されました。9月と言えども残暑が厳しい事が予想されたので出席者の体調を考慮し、今年も植木文化センター大ホールでの開催となりました。

現在、川上校区には1万人の人々が暮らしておられますが、その内80歳以上の方々が、約800名ほど暮らしておられます。今回は、その80歳以上の対象の方々の中から160名の方々と、そのご家族、ご来賓、関係者合わせて、約230名の方がご出席をされました。

当日は、特別記念品贈呈を皮切りに、北区の吉住区長様はじめ、ご来賓の方々のご挨拶、ご紹介などの式典の後、イベントを開催。城北高野ダンスクラブの踊り、西村直子さんの歌謡ショーなどで会場は、今年も大変盛り上がりしました。ご出演の



「和楽と歓喜の人生を！」

会長 井手 美臣

社会福祉協議会

つくりが命を守ります。
ご協力いただいた自治会、防災士の皆さまに心より感謝申し上げます。今後も継続的な訓練を重ね、安心・安全な川上校区を目指してまいります。次回の防災訓練にもぜひご参加ください。

皆様方、本当にありがとうございました。
又、開催に向け、準備をして下さった民生委員の方々の始め、関係者の皆さんにも厚く御礼申し上げます。

今年は、戦後80年の節目の年にあたります。今回の出席者の方々は、終戦の年にお生まれになられた方が、それ以前にお生まれになられた方が対象となりました。対象の方々は、戦後の復興に向け、家族の為、地域の為に身を削るような思いで働いてこられました。いま私たちが、穏やかで幸せな暮らしを営む事が出来ますのもご出席の皆様のおかげの賜物と感謝し、御礼を申し上げます。

川上校区敬老会へ、ご出席対象者のご長寿を心よりお祝いし、末永いご健康を願い、そしてこの川上校区の発展にご尽力を頂きましたご功績に、改めて感謝申し上げます。対象者の皆様には、これからも心豊かに、和楽と歓喜の人生をお過ごし頂けますようお願いいたします。そして今後とも、末永くご指導頂きますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

今回も、ホールでの開催という事もあり、家族同伴でご出席された方々もいらっしゃいましたので、より楽しんで頂けたかと思えます。

来年は、9月13日に、開催予定です。より多くの、対象者のご出席をお待ち申し上げます。



「第33回ふれあいフェスタ in ぼくぶ」開催

自治会連合会 会長 前田 勝之助

10月23日・25日、川上・西里・北部東の3校区が一堂に会し、地域住民同士の交流を深めることも、世代を超えたつながりを育むことを目的に「第33回ふれあいフェスタ in ぼくぶ」を開催しました。スポーツや文化活動、健康づくり、子育て支援など多彩なプログラムを通じて、地域の魅力を再発見し、住民が安心して暮らせるまちづくりを推進する機会としています。

10月23日(木)

■明徳グラウンド

グラウンドゴルフ大会には223名が参加し、秋空の下で熱戦が繰り広げられました。各成績は下記の通りです。

10月25日(土)

■北部中体育館

ビーチバレーボール大会には9チーム55名が参加し、白熱した試合が続きました。各成績は下記の通りです。



■地域企業の参画

駐車場ではフンドーダイや肥後銀行など地域企業が参加し、「みそ詰め放題」などイベント性のある企画を実施しました。

■フィナーレ

最後には抽選会で大いに盛り上がり、笑顔あふれる一日となりました。多くの方にご来場いただ



■北部体育館
午前の部では「青少年大会」、午後の部では熊本県警音楽隊による演奏と「情熱ライブステージ」が行われ、会場は大いに盛り上がりました。昨年同様、小・中学校の作品展も開催され、ご家族でお子さんの作品を探す姿が見られました。

■北部武道館

川上コミュニティセンター
北部武道館では「健康フェア」や「出張！子育て支援センター」など子育て支援スペースを設置。川上コミュニティセンターでは、4校PTA連絡協議会による「光るスライム作り」や九州農政局による「バルーンアート」など、親子で楽しめる体験型イベントが多数行われました。

- ビーチボールバレー大会の部
- 男子の部
- 1位 尾当(川上校区)
 - 2位 南陽台(北部東校区)
 - 2位 蔵屋敷(北部東校区)
- 女子の部
- 1位 いつメン(川上校区)
 - 2位 ピンクパンサー(西里校区)
 - 3位 ドクダミ(川上校区)

- 情熱ライブステージの部
- 情熱大賞 [Runino Kids]
- 優秀賞 [フレンズパトスタジオ]
- 特別賞 [NOR (バイオリン)]
- 奨励賞 [Dance Circle]
- VIVACE

き、誠にありがとうございました。
実行委員会の皆さま、ご協賛いただいた企業様に心より感謝申し上げます。
表彰者は次の通りです。

グラウンドゴルフ大会の部

男子の部

- 1位 岩本 四一(東葉山)
- 2位 鶴田 義信(桑鶴)
- 3位 宮崎 良一(飛田)

女子の部

- 1位 福住 睦子(西梶尾)
- 2位 上島 圓子(馬出)
- 3位 井手上 静子(西梶尾)

川上小学校便り



川上小学校 教頭 井手 尚美

朝、窓を開けるとキンモクセイの甘い香りとひんやり澄んだ空気が入り込み、季節の移ろいを感じるようになった十一月九日(日)。校内音楽会を開催しました。あいにくの雨模様でしたが、多くのご来賓や保護者の皆様にご来校いただき、子どもたちの演奏にもいつも以上の熱がこもりました。

オープニングは一年生。国語で学習した内容を音楽劇に仕立てた「サラダでげんき・スキヤットたいそう」は、会場にいたすべての人を笑顔と元気でいっぱいにしてくれました。そのあとに続く二年生も、みんなの力を合わせれば大きな力になることを、ミュージカル仕立ての「スイミー」で表現します。海のいろいろな生き物たちに扮した子どもたちの歌やダンスはとても魅力的でした。



ベートーベン先生まで登場するストーリーで、会場を大いに盛り上げてくれました。

ロックンロールのリズムで県庁所在地と名産品を紹介した四年生は、社会科の学習と内容を結び付けた発表です。

「千本桜」の演奏も複雑な音の組み合わせで難しいものでしたが、力強く見事な演奏を聞かせてくれました。五年生、六年生はそれぞれ鍵盤ハーモニカやアコーディオンの他、いろいろな楽器を使い、驚くほど重厚で迫力のある音楽を創り出しました。

素晴らしい息の合った演奏は圧巻で、会場いっぱい響いた拍手はいつまでも鳴り止みませんでした。

また、音楽の楽しさを優しい歌声で伝えてくれた音楽部をはじめ、進行役を務めてくれた音楽委員会の子どもたちの力も、この素晴らしい一日を支える大きな力となりました。

四月からの半年で学んだことを最大限に魅せてくれた川上つ子たち。雨空も吹き飛ばしてしまふほどで、本当に誇らしく思います。一年生から六年生まで、それぞれの良さを発表を通して見せてくれた子どもたちからは、「学ぶことの素晴らしさをあらためて教えてもらった気がします。困難なことにもしっかりと向き合います。」



コツコツと努力をして得られた成果としてのこの音楽会は、きっと一生の宝になるはずです。このような素晴らしい一日が生まれるまでには、陰で力を尽くした人たちの姿もありました。子どもたちの頑張りは言うまでもないのですが、どんな工夫で子どもたちの個性を生かし、魅力を引き出すか、毎日話し合いを重ねていた先生方、早くから計画を練り、職員合奏までまとめた音楽専科の崎坂先生、そして子どもたちのために、リコーダーベルトをリボンで一本一本作ってくれた事務室の先生方や練習を見守り、背景等をたくさん描いてくれた学級支援員の先生方……。私は教頭としてそれらの様子を間近で見ながら、頭が下がる思いでした。

「Practice makes perfect.」講評でもお伝えしましたが、パーフェクトとは、「本番で間違えないこと」を言うのではなく、困難にも丁寧に向き合い、やり通すことだと思います。子どもたちの努力と、それを周りで支えていた全ての人の尽力で生まれた感動、今回の校内音楽会はまさに「パーフェクト」だと言えるものでした。

全ての人が、子どもたちが輝くために力を惜しまないこと、これからもそれを大切に川上小学校であり続けたいと思います。ご支援くださった皆様、本当にありがとうございました。



北部中学校便り



「北部文化の日」

十月十日(金)に「北部文化の日」として、北部中学校の文化発表会を行いました。美術や総合的な学習の時間などで生徒が作成した作品を教室棟廊下に掲示し、鑑賞しました。特に生徒たちが熱中したのは、体育館での合唱コンクールでした。

本校の合唱コンクールは、1、2、3年生一クラスずつ入る縦割り団で行います。それぞれの学年の1組が集まった1組団、2組が集まった2組団と言う具合です。一年生が7クラスあるので、6、7組団は4学級で編成されました。

3年生が練習を主導し、2年生はお手本を示し、1年生は先輩方を見習い頑張るという姿勢でそれぞれ本番までの練習に取り組みます。他の学校では、学級単位で行うことが多いのですが、縦割り団で行うことで、生徒の自主性が発揮され、さらに、バス、テノール、アルト、ソプラノの各パートの人数が増えて厚みが出るので、合唱自体も素晴らしいものになります。それぞれの団が、短い練習期間のなか、一所懸命に取り組み、当日を迎えました。

当日の講評をしていたいたのは、芳野中学校の林秀一先生でした。「縦割り団の合唱の評価は難しく、引き受けるのにためらった。」と前置きされた後、「列車に例えると、それぞれモーターを付けた新幹線と、一部の車両だけモーターを付けている普通列車のような違いを感じた。一人一人が精

最優秀賞 1組団

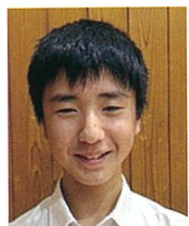


掲示作品の一部

一杯歌っていた新幹線のような団の歌がとても素晴らしかった。」と、講評をいただきました。金賞を獲得したのは、人数が一番少ない1組団と、人数が一番多い6、7組団でした。その二団の中で、最優秀賞を獲得したのは、1組団でした。講評の通り、少ない人数ながら、一人一人の声で精一杯歌っている様子が伝わる素晴らしい歌声でした。発表の瞬間、喜びと悔しさの交錯した体育館でしたが、それぞれに達成感のある素晴らしい合唱コンクールでした。

「北部中学校生徒会役員選挙」

新生徒会長に当選した植竹遼太郎君に意気込みを語ってもらいました。



私たち生徒会は、今、学校目標である「人と繋がる、社会と繋がる、未来とつながるESD・well-being」が当たり前にある学校を、生徒の力で実現できるように取り組んでいます。

十一月は「心かがやけ月間」の取り組みとして、ハイタッチ挨拶運動とハイپیタイムを行います。ハイタッチ挨拶運動は、生徒会が手形のダンボールを用意し、登校する生徒とハイタッチします。笑顔で挨拶を交わし生徒みんながよい一日をスタートできるようにしていきたいです。

ハイピータイムは、帰りの会でお互いに褒め合います。褒められていい気分のまま帰ることもでき、明日も学校に来ようという、みんなのwell-beingにつながって欲しいです。

生徒一人ひとりの個性が輝く学校づくりに努めていきます。

十二月の民生委員・児童委員の一斉改選に伴い、川上校区民生委員児童委員協議会も新たに7人の新メンバーを迎えて再スタートいたしました。

民生委員・児童委員は、厚生労働大臣より委託を受けた、地域住民の立場に立って、みなさまの暮らしを支援する福祉ボランティアです。

近年、少子高齢化が進み、地域のつながりも次第に薄くなっていくなかで、川上校区では誰もが住みやすく、暮らしやすいまちづくりを目指して、校区一丸となって様々な活動に取り組んでいます。

私たち民生委員・児童委員もその一員として、みんなが笑顔のあふれる幸せな生活が出来る、いきいきとした楽しい地域づくりのために一生懸命お手伝いしてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

川上校区民生委員児童委員協議会
会長 津地 尚文

新たなメンバーで
リスタートします

私たちは川上校区の「民生委員・児童委員」です。



津々見 正樹
〔担当地区〕
鹿子木



原 由美子
〔担当地区〕
楠古閑



吉田 雅直
〔担当地区〕
楠原



東 亮一
〔担当地区〕
原口・糸山
小糸山



伊藤 美恵子
〔担当地区〕
西原



加藤 貴一郎
〔担当地区〕
尾当・西尾当



有田 正治
〔担当地区〕
井上・立石
大鳥居



川上 公子
〔担当地区〕
馬出



松永 則子
〔担当地区〕
馬出



津地 尚文
〔担当地区〕
御馬下・長峰
城ヶ辻



欠員
〔担当地区〕
上野



福屋 敏晴
〔担当地区〕
西梶尾



中島 教子
〔担当地区〕
西梶尾



欠員
〔担当地区〕
中尾・鹿子木団地



那須 優子
〔担当地区〕
八原

民生委員・児童委員

民生委員は児童委員を兼ねています。社会福祉の増進のために、住民の立場から生活や福祉全般に関する相談・援助活動を行っています。

赤ちゃんからお年寄りまで、地域の気軽な相談相手として、お悩みのことや困りごとなど、何でも気軽ににご相談ください。

は新任委員です

主任児童委員

主任児童委員は民生委員・児童委員の中で、児童福祉を専門とする委員で、校区全体の子育て支援を担当します。

学校などの各機関や団体と連携して、皆さんが楽しくいきいきと子育てができるよう、相談や支援活動を行っています。

子育てに関することは何でも気軽ににご相談ください。



上野 和美
主任児童委員



知識 未知
主任児童委員

自治会連合会 視察研修会報告

自治会連合会会長 前田 勝之助

毎年自治会連合会で実施している視察研修会を9月12・13日に島原・雲仙及び鹿島（佐賀県）で行いました。

1日目は、雲仙火山災害記念館「がまだすドーム」で溶岩ドームや火砕流、土石流といった火山災害のメカニズムについて説明を受け、火砕流の速さを再現した施設でその凄まじい速さを体感しました。

その後、土石流被災家屋や旧大野木場小学校被災校舎を目の当たりにし、小手先の防災対策では如何ともし難い。事前にその場から逃げるのが最善の策である。40名以上の命を奪った自然災害に今更ながら畏怖の念を抱いたところでした。

2日目は、地球の躍動・鼓動を感じる雲仙地獄を散策し、その後、鹿島市にある肥前浜宿（港



消防団第72分団

分団長 吉里 康宏



令和7年10月1日付で、熊本市消防団第72分団の分

団長に就任しました吉里康宏と申します。

平素より、川上校区の皆様並びに関係機関の皆様には消防団の活動にご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

消防団は、「自らの地域は自ら守る」という精神で通常の火災のみでなく、年々深刻化する自然災害対応・防災知識の普及啓発・夏まつりやどんどやでの警戒等地域に密着した活動も行っています。

このためには、仕事や学業、家事や育児等との両立を図りながら、消火・防災訓練や消防に関する知識の習得に努めてまいりますのでどうぞよろしくお願いいたします。

熊本市消防団第72分団組織体制			
役職名		氏 名	地 区
分団長		吉里 康宏	—
副分団長		上島 健	—
第72分団（川上）	第1部 部長	阿部 祐大	井上・立石・尾当・西尾当
	第2部 部長	小佐井直也	原口・糸山・小糸山・西原
	第3部 部長	中山 暁雄	楠古閑・楠原・大鳥居
	第4部 部長	上田 勲	西梶尾・鹿子木・中尾・鹿子木団地
	第5部 部長	上村 康德	馬出・長峰・御馬下・上野・城ヶ辻・八原



◆消防団員募集しています。

川上校区の消防団員は平成26年度に145名所属していましたが、現在は87名と減少しています。

熊本市全体でも定員に達していない状況です。

消防団員になるための資格は、次の通りです。

- ・熊本市消防団の区域に居住し又は通勤し、若しくは通学する者であること。
- ・年齢18歳以上の者であること。
- ・心身ともに健康であり、消防団の任務において適任であると認められる者であること。

申し込みは、毎年4月1日及び10月1日

詳しくは熊本市消防団ホームページ
<http://kumashou.com> <





自治会・地域公民館 活動紹介

第14町内(井上)

自治会長 小佐井 敏宏

第14町内は、熊本市合併に伴い改寄町の一部となり今日に至っています。

世帯数43世帯ですが、今後増える感じはなく減少傾向にあるように思われます。

そのような中、年2回の区役、5回ほどの環境保全活動には、ほぼ全世帯が参加されるなど、地域の一体感は強固なものです。

各団体では、老人会は年数回、温泉行きであったり、定期的にグラウンドゴルフの練習、大会参加など活発に活動されています。

子供会は、クリスマス会、七夕などのイベントを子供たちのために頑張っており、また、婦人部では、廃油石鹸作りなど活動されています。

井上地区には、史跡も残されており、井上横穴古墳、井上城跡があり、説明書には「中世の



城跡で、城主には鹿子木氏とも小佐井氏とも伝えられている。丘陵地に築かれた平山城で井上部落全体が一つの城だったと考えられている。」昭



和55年北部町教育委員会指定。

このように、世帯数は多くありませんが、お互いコミュニケーションは取りやすく、住みやすく、安心して暮らせる地区であると思います。

社会福祉協議会

ご芳情に感謝申し上げます

このたび、次の方々から多額の香典返しのご寄付をいただきました。ご芳情に對しまして深く感謝申し上げます。

なお、今回は令和7年7月から令和7年10月までにご寄付いただいた方々となっております。

年月	寄付者名	住所	故人名
7年7月	山田秋弘 様	西梶尾町	山田恭子 様
7年10月	津々見正樹様	鹿子木町	津々見君子様

香典返しのご寄付のお願い

皆様からのご寄付の浄財は、川上校区の敬老会、赤飯配布、介護者慰労金など、住み良い福祉の町づくりのために有効に活用させていただきます。

福祉活動充実のため、校区社会福祉協議会へご寄付いただければ幸いです。

なお、香典返しのご寄付は、左記にお寄せいただけますようお願い申し上げます。

記

川上地域コミュニティセンター(川上コミセン)
(北部中学校正門前) ☎245・3555

編集後記

私たちは、日々様々な情報に接して暮らしています。先日何かの文章に、「現代はVUCA(ブールカ)時代」という言葉がありました。知らべていくと「VUCAはもう古い、今はさらに進展したBAN(バニ)が提唱されている」とか???

情報伝達手段も変化しているが、変わらないものがある。第38号の刊行となる「広報かわかみ」年2回の刊行です。19年間も継続しています。

これからも最も身近な校区の話題を提供してまいります。

自治会連合会

会長 前田勝之助

人口・世帯数の推移 (令和7年11月1日現在)

	世帯数	人口
熊本市	365,538	729,174
川上校区	4,622	9,832
令和6年11月1日との比較	+12	-107